

## 第24回 日本バイオセーフティ学会 総会 議事次第

日時：2025年（令和7年）11月26日（水曜日）13：00～13：40

場所：戸山サンライズ2階大研修室

- 1 開会の辞
- 2 理事長挨拶
- 3 議長及び議事録署名人の選出
- 4 議案審議
  - 4.1 2024年度事業報告について
  - 4.2 2024年度収支決算報告及び会計監査について
  - 4.3 2026年度事業計画（案）について
  - 4.4 2026年度予算（案）について
  - 4.5 理事選挙結果及び理事選任（案）について
  - 4.6 会則等の改正について（別紙1）
- 5 報告事項
  - 5.1 日本バイオセーフティ学会概要について
  - 5.2 広報委員会及びその活動について（ウェブサイト、ポスター）（別紙2）
  - 5.3 学会バンクの活用について（別紙3）
  - 5.4 2025年度事業中間報告について
  - 5.5 2025年度収支決算中間報告について
  - 5.6 第25回総会・学術集会について
- 6 その他
- 7 閉会の辞

# 2024年度事業報告

## 理事会

臨時	2023年12月19日	イカリストリファーム本社A会議室（対面）及びリモート）
第1回	2024年2月5日	オンライン会議
第2回	2024年6月3日	オンライン会議
第3回	2024年8月28日	オンライン会議
第4回	2024年10月29日	オンライン会議
第5回	2024年11月27日	戸山サンライズ

## 主な検討内容

- ・ 理事の担当及び顧問の任命について
- ・ 外部機関からの要望・相談対応について
- ・ 事務文書の管理について
- ・ 海外派遣支援制度について
- ・ 委員会活動について
- ・ 会員数の拡大、アウトリーチ活動について
- ・ 法人化について
- ・ 会計について

## バイオセーフティ編集委員会

会誌「バイオセーフティ」第1号（3月号）、第2号（7月号）、第3号（11月号）を発行した。編集に関する会議はメールベースで実施した。第1、2号では外部の方の寄稿が多かったこと（執筆料の増加）、編集・印刷費の値上げがあったこと、第1、2号のページ数が増えたことなどにより、2024年度の予算の範囲での年間3号の発行が難しくなったため、予算を追加した（理事会承認）。学会ウェブサイトの関連ページを変更し、会誌「バイオセーフティ」各号の目次、投稿規定を同サイトに掲載した。

## 実験室バイオセーフティガイドライン作成委員会

2019年に実験室バイオセーフティガイドライン（以下、ガイドライン）第2版を発行した。2020年にWHOの実験室バイオセーフティマニュアル第4版（以下、WHOマニュアル4版）が発行されたことや、社会的環境の変化を鑑みガイドラインの改訂を検討したが、内容を大きく変更する必要はないとの結論に至り、改訂を見送った。今後の改訂のため、委員の担当範囲を決め、各委員から改訂案を提出する手続きを定めた。WHOマニュアル4版については、附属書または参考資料としてガイドライン内で解説することとした。ガイドライン第3版は、2024年8月刊行を目途としたが、作業の遅れにより2026年度内での刊行を目指している。

## 実験室バイオセーフティ専門家制度委員会

第4回実験室バイオセーフティ専門家講習会を、2024年6月19日～23日に開催した。受講者は22名で認定合格者は20名であった。第5回実験室バイオセーフティ専門家講習会を2024年10月開催の予定であったが参加者が少なかったため次年度に延期した。認定者を対象とする認定更新制度の実施内容を定め、第1回から第4回の認定者に連絡した。更新認定は、日常活動でのバイオセーフティ分野での知見習得に対する評価（ポイント）と認定更新講習での認定試験の評価を基に行うこととした。また、認定者には、本会活動を適宜紹介し、参加を促した。

## 国際委員会

2024年度JBSA海外派遣支援事業として、1件1名日本医療科学大学保健医療科学部教授 天野修司氏（タンザニア、国際バイオセーフティ学会連合 IFBA Gloval Voice Conference、2025年1月21日～24日）に40万円の派遣支援を行った。派遣に関するJBSAへのフィードバック（報告）は、2025年度JBSA学術集会で行う予定である。国際委員会メンバー企画・実施にてシンポジウム「バイオセーフティ教育に関する国際状況」を2024年12月13日に対面及びWeb配信（予防衛生協会）で開催した。講師：長崎大学 黒崎陽平氏、沖縄科学技術大学院 田中俊憲氏、国立感染症研究所 井上智氏、信州大学 篠原克明氏。

## 学術企画委員会

トレーニングコースやシンポジウムの開催を行った。

病原体取扱実務者のリスク評価トレーニングコース

開催日時：2024年11月26日（火）13:00～17:00

場所：戸山サンライズ大会議室（東京都新宿区戸山 1-23-1）

第13回バイオセーフティシンポジウム・バイオセーフティ教育に関する国際状況

開催日時：2024年12月13日（金）13:30～17:00

場所：（一社）予防衛生協会（つくば）

## 2024年度収支決算報告

### 収入の部

収入	項目	2024年度予算	2024年度決算	差額	備考
1	正会員・学生会員：年会費	1,354,000	1,032,000	-322,000	正会員:139名 学生会員:3名
2	前年度会費収入	0	120,000	120,000	2021-23年度
3	賛助会員	510,000	480,000	-30,000	賛助会員数：15社
4	新規加入：会員	300,000	170,000	-130,000	2024年度：17名
5	銀行金利	20	363	343	
6	特別事業収入	1,300,000	3,990,270	2,690,270	
7	その他	100,000	72,259	-27,741	* 学会総会等
	当年度事業収入小計	3,564,020	5,864,892	2,300,872	
6	前年度繰越金	6,550,657	6,550,657	0	
	収入合計	10,114,677	12,415,549	2,300,872	

### 支出の部

支出	項目	2024年度予算	2024年度決算	差額	備考
1	事務委託費	660,000	660,000	0	消費税含む
2	2022年度総会：補助	300,000	300,000	0	
3	会誌バイオセーフティ発行	800,000	900,236	100,236	3回/年
4	運営費・印刷費	30,000	109,445	79,445	
5	理事会費	50,000	10,000	-40,000	交通費：リアル：2回
6	通信費：郵便・Web等	45,000	121,270	76,270	
7	Web維持費	150,000	117,392	-32,608	毎年の経費
8	会員マージンリスト作成	15,000	15,000	0	会員登録整備
9	メール発信	30,000	30,000	0	
10	リモート維持費	30,000	30,000	0	
11	国際：活動費	20,000	0	-20,000	海外出張時：別途計上
12	学術企画事業	200,000	200,000	0	
13	BS専門家講習事業	200,000	200,000	0	
14	Train the Trainer	50,000	50,000	0	
15	BSガイドライン作成	50,000	0	-50,000	
16	国際派遣支援	600,000	400,000	-200,000	合計予算 ¥ 600k ¥
18	国際派遣支援事務費	100,000	99,000	-1,000	
19	特別事業支出	3,200,000	3,597,123	397,123	
20	振込手数料	0	990	990	
	事業小計	6,530,000	6,840,456	310,456	
21	活動予備費	3,584,677	5,575,093	1,990,416	
	支出合計	10,114,677	12,415,549	2,300,872	

## 特別会計 収支報告書

### 1) 日本バイオセーフティ学会 実験室バイオセーフティガイドライン 第2版

項目	販売部数	金額	在庫数
実験室BSガイドライン（第2版）	54	195,770	71
ニュースレター	1	2,000	
販売手数料（74冊分）		37,000	
収支		160,770	

### 2) 学術企画 事業

項目	本部予算	収入	支出	収益
シンポジウム				
第12回（3月14日）	100,000	210,000	304,300	5,700
第13回（12月13日）	100,000	125,000	220,500	4,500
収支合計	200,000	335,000	524,800	10,200

### 3) 実験室バイオセーフティ専門家認定講習会

項目	本部予算	収入	支出	収益
フォローアップ:2月21,22日	0	200,000	188,602	11,398
第5回：6月17日～21日	100,000	1,562,500	1,464,677	197,823
第6回：10月21日～25日	100,000	925,000	1,220,949	-195,949
収支合計	200,000	2,687,500	2,874,288	13,272

### 4) リスク評価トレーニングコース

項目	本部予算	収入	支出	収益
第1回：11月26日	50,000	320,000	161,095	208,905
収支合計	50,000	320,000	161,095	208,905

### 5) 国際委員会：海外派遣支援事業

項目	本部予算	収入	支出	過不足
海外派遣支援	400,000	0	400,000	


	本部予算	収入	総収入	支出	収益
特別会計収益	450,000	3,540,270	3,990,270	3,597,123	393,147

## 2024年度会計監査

### 2024年度日本バイオセーフティ学会監査報告書

2024年度日本バイオセーフティ学会収支決算について、2025年11月14日午後1時より、本会の事務を受託している一般社団法人予防衛生協会において帳簿類及び預金通帳を監査したところ、適正に処理されていると認めます。

2025年11月14日

監事 小暮 一俊 

監事 高木 顕二 

# 2026年度事業計画（案）

## 理事会

2～3 か月に1回のペースで理事会を開催し、本会の活動の運営等について審議する。特に、会員拡大対策や学会バンクの有効活用について検討を進める。

## バイオセーフティ編集委員会

会誌「バイオセーフティ」第7号（3月号）、第8号（7月号）、第9号（11月号）と3回の発行を行う。冊子の送付から電子版の配布に移行する。2026年度は、2025年度に比べ掲載論文数を増やすことができる見込みで、新たな講座の掲載も計画している。会誌に原著論文が寄稿されるよう会員に広く啓発する。

## 広報委員会

2026年度は、学会公式ウェブサイトおよび会員専用ページの定期的な更新を行い、学会活動や関連情報の発信の強化を行う。学術集会や講習会等の広報支援を継続するとともに、広報の新たな手法を検討する。2026年度に開催される学術集会や学会主催イベント、講習会など、学会に関する情報を会員のみならず関連機関や関連学会へ広く周知を行う。

## 実験室バイオセーフティガイドライン作成委員会

実験室バイオセーフティガイドライン（改訂案、第3版）の編集作業を行い、2026年度の早い時期に編集作業を完了し、発行する。改訂案の詳細については、今後、検討する。

## 実験室バイオセーフティ専門家制度委員会

バイオセーフティ専門家講習会は、2回/年度開催する。開催方式は、全講座受講と2分割受講にて実施する。2026年度において講習会の運用に就き全面的見直しを行い、2027年度よりの施行を企画する。2021年度より開始した本認定制度の認定期間が2027年度にて認定期間満了を迎えるため、2026年度では更新講習内容を整理し、規程による更新講習の案内を行う。2027年度更新講習を「第1期」として実施する。

## 国際委員会

JBSA海外派遣支援事業として、1件について派遣支援を行う。派遣に関するJBSAへのフィードバック（報告）は、JBSA会員誌に投稿あるいはJBSA学術集会で行う。

## 学術企画委員会

バイオリスクマネジメントのリスク評価をテーマにした受講生参加型のコース開催及び多様な学術企画委員の専門性を生かしたセミナーやシンポジウム等の企画検討・実施を行う。

## 2026年度予算（案）

期間2026年1月1日～12月31日					
収入の部					
	項目	2025年度予算	2026年度予算（案）	増減	備考
1	正会員：年会費	1,403,000	1,351,000	-52,000	正会員135名、学生会員1名
2	前年度会費収入	100,000	0	-100,000	
3	賛助会員	510,000	510,000	0	賛助会員数：15社
4	新規加入：会員	200,000	0	-200,000	来年度以降、この項目を削除
5	銀行金利	600	5,000	4,400	
6	特別事業収入	4,400,000		-4,400,000	7～9の各事業収入に分割
7	事業収入（学術企画）	0	1,100,000	1,100,000	参加費等、新規項目
8	事業収入（BS専門家制度事業）	0	3,890,000	3,890,000	参加費等、新規項目
9	事業収入（ガイドライン売上）	0	50,000	50,000	書籍売り上げ、新規項目
10	その他	100,000	300,000	200,000	学術集会参加費等
	当年度収入小計	6,713,600	7,206,000	492,400	
11	前年度繰越金	6,000,000	5,000,000	-1,000,000	
	収入合計	12,713,600	12,206,000	-507,600	
支出の部					
	項目	2025年度予算	2026年度度予算（案）	差額	備考
1	事務委託費	660,000	660,000	0	委託先：予防衛生協会
2	総会・学術集会開催補助	300,000	300,000	0	
3	会誌バイオセーフティ発行費	900,000	700,000	-200,000	3回/年
4	運営・印刷費	30,000	30,000	0	総会資料等
5	理事会費	50,000	50,000	0	会場費、理事旅費
6	通信費等	45,000	20,000	-25,000	
7	ウェブサイト維持費	120,000	85,000	-35,000	
8	会員メーリングリスト作成	15,000	5,000	-10,000	学会バンクの活用
9	メール発信費	30,000	15,000	-15,000	学会バンクの活用
10	リモート維持費	30,000	0	-30,000	オンライン会議費等
11	アウトリーチ活動費	500,000	0	-500,000	
12	広報活動費	500,000	250,000	-250,000	
13	理事選挙経費	100,000	0	-100,000	
14	振込手数料	2,000	2,000		
15	特別事業支出	3,200,000	0	-3,200,000	16～20の各事業支出に分割
16	学術企画事業費	450,000	1,320,000	870,000	シンポジウム等
17	Train the Trainere	50,000	0	-50,000	学術企画事業費に統合
18	BS専門家講習事業	200,000	4,490,000	4,290,000	
19	ガイドライン事業費	50,000	50,000	0	会議費等
20	国際委員会事業費	600,000	250,000	-350,000	国際派遣事業
21	国際派遣支援事務費	100,000	0	-100,000	国際委員会事業費に統合
	事業費小計	7,932,000	8,227,000	295,000	
	活動予備費	4,781,600	3,979,000	-802,600	
	支出合計	12,713,600	12,206,000	-507,600	



## 理事選挙結果及び理事選任（案）について

### 理事選挙結果

投票総数：76票（web 5 9 票、紙 1 7 票）、有効投票数 7 2 票（web 5 8 票、紙 1 4 票）

獲得票上位6名

1. 黒崎洋平（43票）
2. 四宮成祥（36票）
3. 三浦詩織（35票）
4. 森ゆうこ（32票）
5. 西野佳似（31票）
6. 伊木繁雄（12票）

### 理事選任（案）

氏名	任期	備考
國島広之	2024年-2027年	非改選
井上智	2024年-2027年	非改選
早坂大輔	2024年-2027年	非改選
吉田一也	2024年-2027年	非改選
森康子	2024年-2027年	非改選
黒崎陽平	2026年-2029年	新任
四ノ宮成祥	2026年-2029年	新任
三浦詩織	2026年-2029年	新任
西野佳以	2026年-2029年	新任
森ゆうこ	2026年-2029年	新任

## 会則等の改正について

別紙 1

## 日本バイオセーフティ学会概要

正会員：140名（+1）

学生会員：5名（+2）

賛助会員：15社（±0）

\* 2025年10月31日現在

（ ）：2024年10月31日付けからの増減数

### 賛助会員一覧

- アゼアス株式会社
- 一般社団法人 日本血液製剤機構
- 株式会社 イカリストリファーム
- 株式会社 エアレックス
- 株式会社 生物技研
- 株式会社 日立産機システム
- 株式会社 山下設計
- 公益社団法人 日本ペストコントロール協会
- シスメックス株式会社
- 柴田科学株式会社
- タカラバイオ株式会社
- ニッタ株式会社
- ニッタエアソリューションズ株式会社
- 日本エアーテック株式会社
- 日本たばこ産業株式会社

### 役員

氏名	任期	役職及び担当業務等
前田秋彦	2022年-2025年	理事長、総会、会計
中嶋建介	2022年-2025年	理事、国際、ガイドライン
河合康洋	2022年-2025年	理事、選挙、専門家制度
杉山和良	2022年-2025年	理事、学術企画、会誌
田中俊憲	2022年-2025年	理事、事務局長、総会、国際、広報
國島広之	2024年-2027年	理事、会計
井上智	2024年-2027年	理事、総会、学術企画、広報
早坂大輔	2024年-2027年	理事、選挙、広報
吉田一也	2024年-2027年	理事、学術企画
森康子	2024年-2027年	理事、国際
黒崎陽平	2025年	理事会推薦理事、国際
三浦詩織	2025年	理事会推薦理事、広報、国際
小暮一俊	2024年-2025年-	監事
高木顕二	2025年	監事、後藤浩氏の後任

### 顧問

北林厚生

篠原克明

## 委員会

### バイオセーフティ編集委員会

委員長: 杉山和良

委員: 天野修司・有川二郎・大沢一貴・北林厚生・小暮一俊・早坂大輔・前田秋彦・三浦詩織・  
矢島美彩子・吉田一也

### 広報委員会

委員長: 三浦詩織

委員: 井上智・河合康洋・田中俊憲・西野佳以・早坂大輔・前田秋彦・森ゆうこ

### 実験室バイオセーフティガイドライン作成委員会

委員長: 杉山和良

委員: 伊木繁雄・北林厚生・小暮一俊・篠原克明・中嶋建介・吉田一也

### バイオセーフティ専門家制度委員会

委員長: 坂田保司

委員: 井上秀・大本哲也・河合康洋・北林厚生・小暮一俊・木場裕介・篠原克明・杉山和良・高澤優志・中村浩章・  
望月淳一・山岸義尚・吉田多加夫

### 学術企画委員会

委員長: 井上 智

委員: 伊木繁雄・井上秀・河合康洋・黒崎陽平・小暮一俊・木場裕介・篠原克明・四ノ宮成祥・杉山和良・  
高澤優志・田中俊憲・早坂大輔・三浦詩織・森ゆうこ・吉田一也

### 国際委員会

委員長: 篠原克明

委員: 加藤 篤・北林厚生・國島広之・黒崎陽平・小暮一俊・田中俊憲・中嶋建介・前田秋彦・森康子

## 広報委員会及びその活動

別紙 2

## 学会バンクの活用

別紙 3

# 2025年度事業中間報告

## 理事会

第1回	2024年12月19日	オンライン会議
第2回	2025年2月5日	オンライン会議
第3回	2025年4月30日	オンライン会議
第4回	2025年6月30日	オンライン会議
第5回	2025年8月29日	オンライン会議
第6回	2025年10月31日	オンライン会議

## 主な検討内容

- ・ 会費拡大対策、アウトリーチ活動について
- ・ JBSAウェブサイトのリニューアルについて
- ・ 会員誌「バイオセーフティ」について
- ・ 海外派遣支援制度について
- ・ 会則等の改正について
- ・ バイオセーフティ専門家制度について
- ・ 理事選挙について
- ・ JBSA主催トレーニングについて
- ・ 総会・学術集会について
- ・ 会計等について

## バイオセーフティ編集委員会

会誌「バイオセーフティ」第4号（3月号）、第5号（7月号）を発行した。第6号（11月号）は11月1日に発行予定である。第4号、第5号では総説、解説、レポート、講座を1ないし2つ掲載した。故倉田先生を偲ぶ会の報告を第5号に掲載した。第6号では鳥インフルエンザについての総説、大学でのCOVID-19パンデミックへの危機対応の経験等について解説を掲載する。継続中の掲載講座も掲載する。

## 広報委員会

2025年度に広報委員会を設立した。学会の理念および活動に関する情報を発信するとともに、会員相互の情報共有を促進し、社会的認知の向上を図ることを目的とする。委員会設立後、学会公式ウェブサイトの全面的なリニューアルを実施した。併せて、会員専用ページを新設し、会員向けの各種情報提供を開始した。第24回総会・学術集会および市民公開講座の広報支援として、ポスターおよびフライヤーを作成し、学会主催の講習会等において参加者へ直接配布した。また、学会活動の認知拡大および新規会員の獲得を目的として会員募集用ポスターを新たに作成し、第24回総会・学術集会および市民公開講座の案内とともに企業、大学、研究機関、地方衛生研究所など計436機関へ送付したほか、関連学会へのメール配信も行った。

## 実験室バイオセーフティガイドライン作成委員会

実験室バイオセーフティガイドラインの改定案（第3版）について、引き続き作業を行った。2024年6月にWHOからバイオセキュリティガイダンスの第2版（全面改訂版）が発行された。同ガイダンスの内容をガイドラインに取り入れることについても検討している。また、附属書の他に、さらに詳細に説明を必要とする内容に関しては解説書を設けることとし、同解説書の作成に取り掛かった（継続中）。

### 実験室バイオセーフティ専門家制度委員会

第7回バイオセーフティ専門家講習会は（2025年6月16日～20日）受講者が計画より少なかったため、中止とした。

10月20日～24日開催を第7回とし、今回より、講座を2区分し（前期：3日・後期（次回受講）2日）での運用にて実施した。受講者（全講座受講者：14名：分割受講者：3名：合計17名）にて実施した。認定試験合格者：10名、現在（2025年11月11日現在）専門家認定申請者は6名と成っている。

### 国際委員会

2025年度JBSA海外派遣支援事業の公募を行った（公募中）。国際委員会の事業連携として沖縄科学技術大学院大学からマティアス・ウォルフ教授を第24回学術集会に招聘し、組換えエボラウイルスを用いた研究を紹介していただく予定である。

### 学術企画委員会

「病原体取扱実務者のリスク評価トレーニングコース（第2～4回）」を開催した。本トレーニングコースでは、広く実験室において病原体を取り扱う実務者とバイオセーフティに係る実務者がリスク評価の理論と意義を正しく理解して所属施設で実践できるように、また、現場におけるリスク評価を幅広く学んでいただくことを目的とした。

第2回 リスク評価トレーニングコース 2025年4月15日

- ・ テーマ：病原体取扱実務者のリスク評価（各論2）
- ・ 内容：病原体の取り扱いにおける安全確保と評価（SOP、PPE、etc.）

第3回 リスク評価トレーニングコース 2025年7月15日

- ・ テーマ：病原体取扱実務者のリスク評価（各論3）
- ・ 内容：取扱い病原体の一次封じ込めとその評価（BSC・施設・設備を中心に）

第4回 リスク評価トレーニングコース 2025年10月1日

- ・ テーマ：病原体取扱実務者のリスク評価
- ・ 内容：リスクマネジメントの要点及び封じ込めとその評価

## 2025年度収支決算中間報告

収入	項目	2025年度予算	2025年度中間決算	差額	備考
1	正会員・学生会員：年会費	1,403,000	912,000	-490,000	正会員:140名学生会員:5名
2	前年度会費収入	100,000	110,000	10,000	2022-24年度
3	賛助会員	510,000	450,000	-60,000	賛助会員数：15社
4	新規加入：会員	200,000	162,000	-38,000	2025年度：20名
5	銀行金利	600	3,000	2,400	
6	特別事業収入	4,400,000	3,730,660	-669,340	
7	その他	100,000	0	-100,000	学会總會等
	当年度事業収入小計	6,713,600	5,367,660	-1,345,940	
8	前年度繰越金	5,441,323	5,575,093	0	
	収入合計	12,288,693	10,942,753	-1,345,940	

支出	項目	2025年度予算	2025年度中間決算	差額	備考
1	事務委託費	660,000	330,000	-330,000	消費税含む
2	2024年度総会：補助	300,000	0	-300,000	
3	ニュースレター発行	900,000	467,375	-432,625	3回/年
4	運営費・印刷費	30,000	159,696	129,696	
5	理事会費	50,000	0	-50,000	交通費：リアル：2回
6	通信費：郵便・Web等	45,000	17,910	-27,090	
7	Web維持費	120,000	249,700	129,700	毎年の経費
8	会員メーリングリスト作成	15,000	7,500	-7,500	会員登録整備
9	メール発信	30,000	15,000	-15,000	
10	リモート維持費	30,000	15,000	-15,000	
11	国際：活動費	50,000	0	-50,000	海外出張 別途計上
12	学術企画事業	450,000	0	-450,000	シンポジウム等
13	BS専門家講習事業	200,000	200,000	0	
14	Train the Trainer	50,000	50,000	0	
15	BSガイドライン作成	50,000	4,411	-45,589	
16	国際派遣支援費	600,000	0	-600,000	
17	国際派遣支援事務費	100,000	0	-100,000	
18	特別事業支出	3,200,000	3,452,848	252,848	
19	アウトリーチ活動費	500,000	0	-500,000	他の学会等への派遣費用等
20	広報活動費	500,000	96,005	-403,995	シンポジウム経費、 ポスター作成費等
21	理事選挙諸費	100,000	0	-100,000	
22	振込手数料	2,000	990	-1,010	
	事業小計	7,982,000	5,066,435	-2,915,565	
23	活動予備費	4,172,923	5,876,318	1,569,625	
	支出合計	12,288,693	10,942,753	-1,345,940	

## 特別会計 収支報告書

### 1) 日本バイオセーフティ学会 実験室バイオセーフティガイドライン 第2版

項目	販売部数	金額	在庫数
実験室BSガイドライン（第2版）	21	78,660	50
ニュースレター		0	
販売手数料（54冊）		27,000	
収支		51,660	

### 2) 学術企画事業

項目	本部予算	収入	支出	収益
リスク評価トレーニング コース				
第2回（4月15-16日）	0	492,500	319,976	172,524
第3回（7月15-16日）	0	620,000	316,533	303,467
第4回（10月1-2日）	50,000	377,500	420,240	7,260
収支合計	50,000	1,490,000	1,056,749	483,251

### 3) 実験室バイオセーフティ専門家認定講習会

項目	本部予算	収入	支出	収益
中止：6月16日～20日	100,000	0	133,625	-33,625
第7回：10月20日～24日	100,000	1,912,000	2,235,474	-223,474
収支合計	200,000	1,912,000	2,369,099	-257,099

### 4) 国際委員会：海外派遣支援事業

項目	本部予算	収入	支出	過不足
海外派遣支援	0	0		

	本部予算	収入	総収入	支出	収益
特別会計収益	250,000	3,480,660	3,730,660	3,452,848	277,812



## 第25回総会・学術集会について

大会長：河合 康洋

開催日：2026年11月25日～27日（予定）

場所：戸山サンライズ（予定）